

目沼さんの歩み

平成 9 年 (15 歳)

小・中学生の頃

飛び入学制度との出会い

平成 11 年 (17 歳)

大学 1 年の頃

平成 12-13 年 (18-19 歳)

大学 2・3 年生の頃

平成 14 年 (20 歳)

大学院へ入学

平成 19 年 (25 歳)

大学院修了後

職業としての研究者
を夢見ていた

小さな頃から「物事を効率的に行う方法」や「数の仕組み」などを考えるのが好きな理系な子どもでした。その後、科学への関心が高まり、研究者という仕事を真剣に考えるようになりました。

最短 20 歳で卒業で
きることを知った

高校入学のころ飛び入学制度のことを知りました。ほとんどの生徒が東大を目指す高校に通っていた僕が千葉大学を選んだのは「その方が楽しい学生生活が送れそうだ」という直感ですね。

予想以上に整った
学習環境だった

1 年次から始まるセミナーや短期留学など、やる気にさせるプログラムが揃っていることと、先生方の熱心さにビックリ。入学前から 3 年で卒業すると決めていた僕にとっては抜群の学習環境でした。



専用の学習室や休憩
ラウンジでの思い出

「先進科学プログラム専用」の学習室などで繰り広げられた先輩・後輩の垣根を越えた交流も良い思い出です。個性的で頭脳明晰な人たちが多く、何気ない会話の中からも新鮮な刺激を与えてもらいました。



有給の
MIT 大学院生になる

応用物理学を専攻して先進科学プログラムを 3 年で修了し、マサチューセッツ工科大学大学院 (MIT) に進学。MIT を選んだのは、修士・博士の一貫課程 (5 年間) に合格すれば、初年度から給料が支給されるのが大きな魅力だったからです。



経営コンサルティング
会社を経て
研究職へ

修了後、研究を通して培った数値分析のスキルを活かそうと経営コンサルティングの会社に就職したのですが、研究に対する思いが強くなり、カリフォルニア大学サンディエゴ校で研究職に就きました。